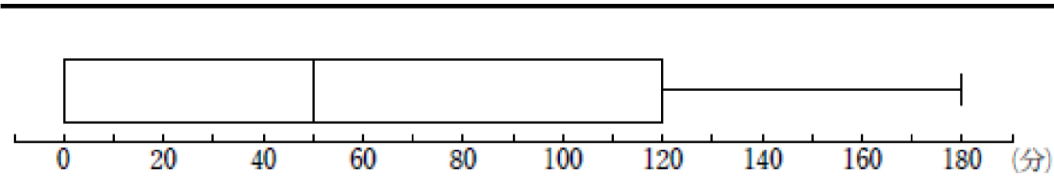


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立邑久高等学校		
実践者等		関 淳	実践日	令和3年8月
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学・数学Ⅰ(データの分析)		
対象生徒(学年等)		生活ビジネス科(2年)		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着			
実践の内容				
【授業】 (1) データの収集 - Forms を使って昨日の学習時間などのデータを収集する。 (2) 箱ひげ図の作成 - スタディエイドに(1)のデータを入力し昨日の学習時間の箱ひげ図を作成する。 (3) データの考察 - 箱ひげ図からどのようなことがわかるか発表させる。 - 練習問題ではありえないような形(最小値＝第1四分位数)になぜなるのかどうしてそのようなことが起こるか考えさせる。 2年2組昨日の学習時間(分)  (4) まとめ - 問題集では起こらないような特殊な箱ひげ図が実際のデータでは起こりうる。 - 同じ値の人が多い(今回は学習時間0分の生徒が全体の4分の1を超えている)と箱ひげ図の幅が狭くなることを確認する。 数学Ⅰ アンケート 数市図を作ってみよう atsushi.seki@gse.okayama-c.ed.jp (共有なし) アカウントを切り替える 4/5/28 出席簿を載せて下さい* 選択 昨日の研修時間を載せて下さい。(単位は3時間、6時間単位で6、6時間半ならば6.5などで入力)* 回答を入力 昨日のメディア(スマホ、TV、PC、タブレット、ゲーム)時間を載せて下さい。(単位は時間、6時間ならば6、6時間半ならば6.5などで入力)*				
【本時と家庭学習との連動】 (本時後) 複数の箱ひげ図から読み取れる問題を宿題とし、箱ひげ図の本質的な意味を理解できているか確認する。				